

私立大学情報教育協会
平成25年度
大学職員情報化研究講習会
基礎講習コース報告

B-1班 『チームひかっち』

1

B-1班 『チームひかっち』の紹介

B-1班のチーム名は、リーダーのニックネームを拝借したものである。

世はICTという大航海時代。ひかっち率いるB-1班『チームひかっち』は浜名湖口イヤルホテルに眠る大秘宝『主体的な力』を、学生に身につけてもらう方策を目指して、7月19日の12時まで浜名湖を駆けめぐる。

2

発表テーマ

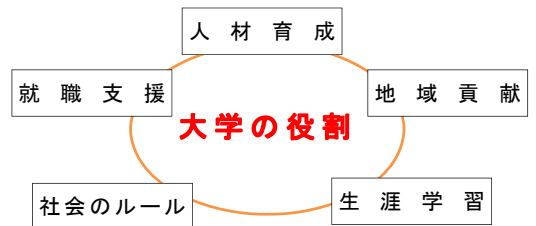
『人材育成』
～主体的な学生を育成するための
多角的視点からみた方策～

3

B-1『人材育成』

テーマ選定理由(1) 大学の役割

私たちが考えた大学の役割



4

B-1『人材育成』

テーマ選定理由(1) 大学の役割

役割を果たすために、大学は何をしなければいけないのか

<人材育成>

- ・即戦力
- ・問題解決力、主体性
- ・初年次教育
- ・時代に即した教育
- ・教員と職員の信頼関係
- ・PBL

<就職支援>

- ・資格取得の支援
- ・スキル開発の場の提供
- ・就職求人情報の提供

<社会のルール>

- ・教養力の向上
- ・ビジネスマナーの習得

<地域貢献>

- ・インターンシップの場の提供
- ・産学連携で地元の企業との交流
- ・環境のよい研究室・研究設備の充実
- ・十分な研究予算

<生涯学習>

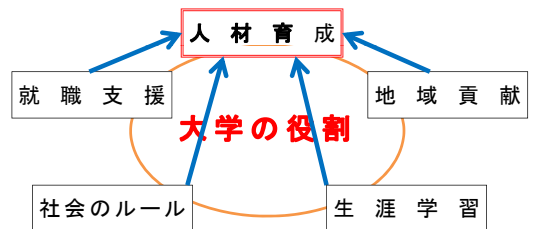
- ・オンラインで受けられる授業
- ・通信教育

5

B-1『人材育成』

テーマ選定理由(1) 大学の役割

私たちが考えた大学の役割



6

B-1『人材育成』

テーマ選定理由(2) 大学の現状

大学の現状はどうだろうか？

<現状は…>

- ・他人任せ
- ・目的・目標が定まっていない
- ・常識を知らない
- ・ひきこもり
- ・要望しない
- ・就職先【内定先】が決められない
- ・どう生きていくか、自分で決められない
- ・希望をもっていない



<その違いはなぜおこっているのか>

- ・失敗経験しない
- ・楽できる環境の中にいる
- ・多様な入試方式により基礎学力に差がある
- ・無難に生きている
- ・親の過保護（例：進学先、就職先）
- ・コミュニケーションの方法の変化
- ・情報の判断
- ・ゆとり教育
- ・競争がない
- ・社会が失敗をゆるさない
- ・カミナリおやじがいない
- ・縦の上下関係がなくなった

B-1『人材育成』

テーマ選定理由(2) 大学の現状

役割を果たすために、どのような取り組みが必要なのだろうか？

- ・失敗経験しない⇒**教員・職員が協力して学生に様々な経験をさせる**
ゼミで経験させる。フォローやフィードバックを出来る環境をつくる
- ・楽できる環境の中にいる⇒**少人数制の授業、役割分担**
- ・多様な入試方式により基礎学力に差がある
- ・ゆとり教育 ⇒ **学力の低下** ⇒ **初年次教育**
- ・競争がない⇒**他大学との交流**
- ・無難に生きている
- ・親の過保護⇒**大学が親への情報提供・発信**
- ・コミュニケーションの方法が変化
- ・情報の判断⇒**メディアリテラシー教育**
- ・カミナリおやじがいない⇒**先生がカミナリおやじになる**
- ・社会が失敗をゆるさない⇒**セーフティネットの構築**
- ・縦の上下関係がなくなった⇒**課外活動の促進**
- ・一人一人個性を吸い上げてあげる⇒**一人一人の個性に応じた教育**

B-1『人材育成』

テーマ選定理由(3) このテーマを選んだ理由

大学の役割、大学の現状を踏まえて、何が重要と考えたのか？

主体性

- ・問題解決力
- ・自己啓発
- ・自分の意見を言える力
- ・判断力
- ・行動力
- ・責任力
- ・応用力
- ・目標設定力



『人材育成』

～主体的な学生を育成するための多角的視点からみた方策～

B-1『人材育成』

大学のイノベーションの提案

・提案の概要

主体性を持った学生を育成するために**既存のコンテンツを改良していく仕組み**をつくる。

・何を問題として捉えたか

現状の人材育成においては、『**主体的な力**』（問題解決力・自分の意見を言える力（発信力）・行動力・応用力・自己啓発力・判断力・責任力・目標設定力等の力）が欠如する学生が多くなってしまっていると感じたため。

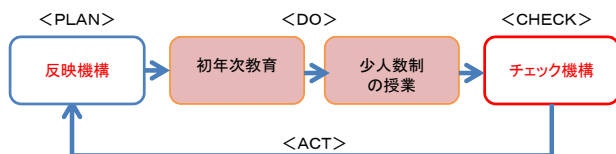
・問題を解決する方法として何を提案するのか

『**初年次教育**』と『**少人数制の授業**』のコンテンツに対して**チェック機構**と**反映機構**を導入による、**PDCAサイクルの確立**を提案したいと思います。

B-1『人材育成』

大学のイノベーションの提案

・これを実現するために、どのようなアプローチが必要か。



主体的な学生